



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 株式会社 東京精密

上場取引所 東

コード番号 7729 URL <http://www.accretech.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 吉田 均

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 CFO (氏名) 川村 浩一

TEL 042-642-1701

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	74,922	19.1	15,031	20.0	15,563	22.7	11,377	27.0
30年3月期第3四半期	62,902	10.9	12,527	28.6	12,684	29.6	8,958	48.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 9,691百万円 (2.9%) 30年3月期第3四半期 9,982百万円 (73.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	273.80	271.70
30年3月期第3四半期	215.88	214.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	152,378	104,676	67.9
30年3月期	132,893	99,354	74.0

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 103,483百万円 30年3月期 98,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		41.00		51.00	92.00
31年3月期		59.00			
31年3月期(予想)				59.00	118.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

31年3月期第2四半期末と同期末配当金(予想)につきましては、それぞれ創業70周年記念配当10円(年間20円)を含んでおります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	13.4	18,700	8.2	18,900	9.1	13,600	6.9	327.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	41,596,481 株	30年3月期	41,575,881 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	36,633 株	30年3月期	36,251 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	41,552,883 株	30年3月期3Q	41,495,383 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、日本や米国では堅調な個人消費や設備投資を背景に回復基調が続きましたが、欧州では個人消費伸び悩みなどで景気拡大ペースが鈍化、中国では景気減速の流れが一段と鮮明になりました。そうした中で米中間の貿易摩擦問題の拡大や英国の合意なきEU離脱の可能性が懸念されるなど、下振れに繋がるリスクが存在する状況が続いています。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、受注高 811 億 81 百万円（前年同期比 12.8%増）、売上高 749 億 22 百万円（前年同期比 19.1%増）、営業利益 150 億 31 百万円（前年同期比 20.0%増）、経常利益 155 億 63 百万円（前年同期比 22.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は 113 億 77 百万円（前年同期比 27.0%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下の通りです。

【半導体製造装置部門】

半導体製造装置部門では、上期に堅調だったメモリ関連投資は、下期に入ってスポット価格低下や在庫調整などにより投資抑制方向に転じましたが、スマートフォン高機能化や IoT、AI 進展に伴うディスプレイドライバ向け投資及び電子部品・センサ向け投資などは引き続き堅調に推移しました。こうした環境の下、当第3四半期連結累計期間の受注高、売上高及び営業利益は前年同期と比べ増加しました。

当部門における当第3四半期連結累計期間の受注高は 548 億 20 百万円（前年同期比 11.8%増）、売上高は 511 億 20 百万円（前年同期比 19.1%増）、営業利益は 98 億 98 百万円（前年同期比 16.1%増）となりました。

【計測機器部門】

計測機器部門では、主要ユーザーである自動車関連業界が引き続き内外での生産効率向上に向けた生産革新のための新規設備投資を積極的に進めました。工作機械需要も内外ともに堅調であるほか、航空機向け需要も堅調さを維持しました。こうした環境を背景に、当社装置の受注高、売上高及び営業利益は前年同期と比べ増加しました。

当部門における当第3四半期連結累計期間の受注高は 263 億 61 百万円（前年同期比 15.0%増）、売上高は 238 億 1 百万円（前年同期比 19.1%増）、営業利益は 51 億 32 百万円（前年同期比 28.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 194 億 85 百万円増加し、1,523 億 78 百万円となりました。増減の主な要因は、土地の増加 73 億 9 百万円、仕掛品、原材料など棚卸資産の増加 67 億 86 百万円、現金及び預金の増加 25 億 65 百万円、ソフトウェアの増加 15 億 63 百万円、建物及び構築物の増加 14 億 9 百万円、投資有価証券の減少 13 億 70 百万円等であります。

当第3四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ 141 億 64 百万円増加し、477 億 2 百万円となりました。増減の主な要因は、長期借入金の増加 100 億円、支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加 51 億 21 百万円、未払法人税等の減少 18 億 78 百万円等であります。

当第3四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ 53 億 21 百万円増加し、1,046 億 76 百万円となりました。増減の主な要因は、利益剰余金の増加 68 億 6 百万円、その他有価証券評価差額金の減少 10 億 21 百万円等であります。この結果、自己資本比率は 67.9%になりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、前回発表時(平成30年11月13日)の見通しを変えておりません。

（注）業績見通し等の将来に関する記述は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益は、記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,220	39,785
受取手形及び売掛金	28,005	27,464
電子記録債権	5,434	6,693
商品及び製品	1,918	1,885
仕掛品	15,223	20,283
原材料及び貯蔵品	5,183	6,942
その他	2,146	2,054
貸倒引当金	△ 142	△ 120
流動資産合計	94,990	104,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,998	15,407
その他(純額)	10,259	17,630
有形固定資産合計	24,258	33,037
無形固定資産		
のれん	185	109
その他	1,671	3,262
無形固定資産合計	1,857	3,371
投資その他の資産		
その他	11,787	10,979
貸倒引当金	△ 0	△ 0
投資その他の資産合計	11,787	10,979
固定資産合計	37,902	47,389
資産合計	132,893	152,378

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,200	9,985
電子記録債務	13,670	17,006
短期借入金	1,300	1,300
未払法人税等	3,254	1,376
引当金	1,248	637
その他	5,133	8,485
流動負債合計	32,807	38,790
固定負債		
長期借入金	—	8,000
役員退職慰労引当金	139	40
退職給付に係る負債	542	539
資産除去債務	—	241
その他	49	90
固定負債合計	731	8,911
負債合計	33,538	47,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,561	10,588
資本剰余金	21,579	21,606
利益剰余金	62,105	68,912
自己株式	△ 118	△ 120
株主資本合計	94,128	100,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,564	542
為替換算調整勘定	811	325
退職給付に係る調整累計額	1,858	1,627
その他の包括利益累計額合計	4,234	2,495
新株予約権	623	771
非支配株主持分	368	421
純資産合計	99,354	104,676
負債純資産合計	132,893	152,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	62,902	74,922
売上原価	37,835	44,475
売上総利益	25,066	30,446
販売費及び一般管理費	12,539	15,415
営業利益	12,527	15,031
営業外収益		
受取利息	16	21
受取配当金	56	121
為替差益	58	299
その他	75	125
営業外収益合計	207	567
営業外費用		
支払利息	15	22
固定資産除売却損	21	1
その他	13	11
営業外費用合計	50	35
経常利益	12,684	15,563
特別利益		
新株予約権戻入益	0	2
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	4	2
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	12,684	15,566
法人税、住民税及び事業税	3,638	3,877
法人税等調整額	53	260
法人税等合計	3,692	4,137
四半期純利益	8,992	11,429
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,958	11,377

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	8,992	11,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	749	△ 1,021
為替換算調整勘定	306	△ 485
退職給付に係る調整額	△ 65	△ 230
その他の包括利益合計	989	△ 1,738
四半期包括利益	9,982	9,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,948	9,638
非支配株主に係る四半期包括利益	34	53

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	42,917	19,984	62,902	62,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	42,917	19,984	62,902	62,902
セグメント利益	8,528	3,998	12,527	12,527

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	51,120	23,801	74,922	74,922
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	51,120	23,801	74,922	74,922
セグメント利益	9,898	5,132	15,031	15,031

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。